

平成30年度第1回 伊那市総合教育会議会議録

- ◎招集年月日 平成30年 9月27日(木)
◎開催日時 平成30年10月10日(水) 午後4時～5時22分
◎場所 伊那市役所 庁議室
◎出席者 白鳥市長、笠原教育長、北原教育長職務代理者、宮脇教育委員、田畑教育委員、原田教育委員
◎欠席者 なし
◎出席職員 馬場教育次長、吉田学校教育課長、小松生涯学習課長、捧文化振興課長、宮下スポーツ振興課長、中村指導主事、北澤指導主事、山崎教育総務係長

1 開 会

馬場教育次長

こんにちは。時間になりましたので、ただ今から今年度第2回の伊那市総合教育会議を始めたいと思います。初めに市長からごあいさつをお願いいたします。

2 市長あいさつ

白鳥市長

こんにちは。先ほど市民大学の入学式ということで、ご出席いただきましてありがとうございました。向学心に燃える方、歳は関係ないなあと改めて感じたところではありますが、そうしたことを続けていくことが、地域の底力につながっていくのかなあということを感じました。

4月からもう6か月が経過して、新しい年度が折り返しにかかるわけですが、私たちの関わりを持っている教育というもの、これが今後いかに大事であるか、また、この地域の将来を占う時に、教育というものがないと、地域がいずれ消滅してしまうのではないかということ強く思っているところであります。

そうした中で、子育てや教育、子育てについては特に力を入れてやっていくということで、今までも取り組んでまいりまして、今回もエアコン、大変な酷暑であったわけではありますが、保育園関係、学童クラブ関係、いち早く手を打って対策をしておりますが、来年に向けて今度は小中学校の教室にということで、来年度の予算査定をする中で、これもやっていかなければいけないということで、計画を始めております。

また、ICT教育、今日の新聞にあったわけではありますが、こうしたICT教育もこれから必須の教育の場面になっていくわけですが、これにいち早く取り組みながら、先生方にも慣れてもらう、また、子どもたちにもただ黒板を見て文字を写すということではなくて、その場で考えて判断できるような、そんな学習場面を考えていきたいということでもあります。非構造部材の耐震化、あるいは、給食施設の更新、いろんなことをやっていく中で、年とともに教育にかかる予算は膨らんでくるわけですが、これは、将来に対する投資ということで、しっかりやっていくつもりでありますので、そうしたことも踏まえて、先生方に伝えていただければと考えていますので、今日の総合教育会議、何点かありますけれど、活発な協議となりますようお願い申し上げます。

馬場教育次長

ありがとうございました。続きまして、教育長からお願いいたします。

3 教育長あいさつ

笠原教育長

こんにちは。本日、6月19日に続きまして、第2回の総合教育会議の開催でございます。大切な会と思いつつごあいさつ申し上げます。

今年の夏でございます。今、市長のお話にありましたように、児童・生徒の安心、安全にかかわることが次々と出てまいりました。今までもあったものが次々と問題化してきたということもあったと思いますが、通学路のブロック塀に関わること、19日と申しましたが、6月の18日が大阪の地震でございました。また、大変な暑さへの対応に、市長が迅速に対処してくださいまして、担当部課のみなさんにお取り組みいただきました。また、議員の皆様からも丁寧な情報提供をいただいたりということで、学校、地域を踏まえた対応に力を尽くしていただいた。そうしたことをやってくることができたと思っております。

とりわけ、市長からありましたように暑さ対応につきましては、夏休み明けにさっそく大型扇風機を60台余、各学校に配置できた。また、今お取り組みいただいているところであり、エアコンの設置などについて、国や県の動向を踏まえながら検討を進めていただいている点、また、学校の樹木の管理等に関わっても、予算化を速やかにしていただける等、諸課題に速やかに適切に対応できているというふうに感じているところでございます。

本日でございますが、そうした取組に加えまして、市が力を入れてきておりますICT教育に関わるもの、また、一番最後、3本柱の3本目になるわけですが、職務権限の一部移管にかかる内容と多岐に渡ります。それらについて、市長のお考えをお聞きし、教育委員のみなさんからもお考え、思いをお出しいただきながら、市長部局、教育委員会が一層連携を深めて「歴史と文化を未来につなぐ心豊かな人を育むまちづくり」、これは、伊那市の総合計画の中にある基本構想であります。是非そうしたところにつながっていく機会にしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

馬場教育次長

それでは、協議事項に入ります。市長の進行でお願いいたします。

4 協議事項

(1) 安心・安全な学校生活のための取り組みについて

- ・ブロック塀、石碑等の安全対策
- ・熱中症対策

白鳥市長

それでは、順を追って進めてまいりたいと思います。ブロック塀の話がありましたけれど、安心・安全な学校生活のための取組についてということですが、事務局から説明を聞く前に、ブロック塀がにわかに注目されたわけでありすけれど、危

険なものはブロック塀だけではありませんので、それを広くとらえて点検するよう担当部署には指示を出してあります。例えば学校の中には卒業記念で作ったようなモニメントとか石碑とか、伊那西小学校とか西箕輪小中学校には学校林というような林がありまして、アカマツやカラマツが伐期を超えているということで、枝が落下するというような危険が非常にあります。そうした外回りだけではなくて、学校の中にも昔いただいた大きな額縁に入った絵とか、教室の中のスピーカーとか、何かの時に落下して子どもたち当たる危険性のあるものがありますので、これらについて大至急チェックリストをもって点検してもらいたいということで、指示をしてありますので、それを含めて担当の方から説明をお願いします。

吉田学校教育課長

「資料No.1」に基づき説明

白鳥市長

はい。さっきのエアコンでデータを取るということは非常にいいことなので、取ってみての考察をもう少し細かく話をしてください。

吉田学校教育課長

はい。例えば7ページをご覧いただければと思います。小学校の学校別平均気温でありますけれど、伊那北小学校、伊那東小学校が高いというのは想定したところでありまして、手良小学校が高かったということがあります。こちらで考察するなかでは、手良小学校は学校の校舎の南側がグラウンドになっております。南側がグラウンドになっているという学校は意外とあるようでいて少なく、そういう学校の中で校舎とグラウンドとの間に樹木もないということで、グラウンドの熱い風が直接学校に来ていることが想定されます。同じ意味で西春近南小学校も校舎の南側にグラウンドがあるということで、そのほかは西側であったり北側にグラウンドがあるということでもあります。また、樹木の高いものが校舎の南側にある、例えば、美篤小は木陰ができて風通しがよいのかと思ったところでもあります。

中学校では、中学校別の平均気温で言いますと、東部中学校が一番低かったということでもあります。これも予想外であったんですが、校舎が大きくて廊下が広いところは風通しがよくて、空気の流れのいい学校は、割合低かったのではないかとというような結果が出ています。相対的に1階より2階、2階より3階、4階の方が気温が高いということがありますので、設置していく場合、優先順位を考えていくべきかなと考えているところでもあります。

先ほど申しましたように常時使う教室ということで、普通教室の気温の調査でありましたので、今後必要があれば特別教室等も調査して分析していきたいと考えているところでもあります。

白鳥市長

順を追ってみなさんから意見をいただきたいと思いますが、まず、学校の危険箇所、細かくリストを作ってもらったんだけど、これを10月31日までに出してもらおうということで対応しているわけですが、校舎の中、学校の周辺、また、通学路を含めてみなさんからご意見をいただきたいと思います。

田畑教育委員

今回、ブロック塀に注目されたものを水平展開してもらって、校舎内、通学路といただいたことはありがたいと思うんですけど、別に批判的な意見ではなくて、往々にして項目が広がると、項目を絞ってエネルギーをかけるのが難しくなって、数多くの危険箇所があると認識するのはいいと思うんですが、思うに倒壊したことを考えた時に、ブロック塀があって新しいです、または、作った年はわからないけれど強固な感じがするものでも、中に鉄筋が入っていなかったりという構造上破壊してみないとわからないようなものについて、どこまでフォローが効いているのかというようなところをどうやって調べたのかというようなことを思って、記憶の中で門柱などが倒れた事故というと、手良小学校でしたっけ、門柱にチェーンをかけてあったところで少年野球の子どもたちがブランコをしていて折れて、下敷きになって亡くなったという事故が思い浮かんで、誰がこの門柱が折れるかと思ったこともなかったものが折れるという事故があったはずで、かなり時間が経っているんで、門柱の鉄筋構造は対応済みということであれば、今回はいいと思うんですが、内部構造の非破壊で確認する必要なものが、あるのかないのか確認できていけばいいんですけど、していただければいいと思います。校舎のなかで子どもたちが待機する、あるいは、地域の方が避難して使っている時に事故にあうということがリスクが多いので、合せて確認していただければと思います。

白鳥市長

今、職員室のものを見たときに、ちょっと細かすぎるかなという気がしたんだよね。例えば、ささくれがあるとかないとか、ごみ箱が破損したり悪臭を発していないかとかは、非日常の地震発生時の点検対象ではないと思うんだよ。テレビ・パソコンの落下防止処置がされているとか、棚の上に重いものが置いてないかということが、本来の見るべきことなので、あまりに広げ過ぎている感じがしたんだよね。

吉田学校教育課長

このくらいを年1回くらい点検することを想定しています。

白鳥市長

これをやるのは結構大変な作業になるね。今回の作業は、地震発生時に子どもたちに重大な危険が及ぶもの、そこら辺の視点に絞っていった方がいいと思う。

吉田学校教育課長

見直すようにします。

白鳥市長

はい、ほかにどうでしょうか。

宮脇教育委員

3ページを見ると、元が千葉県教育委員会のものになるんですか。

吉田学校教育課長

はい。

宮脇教育委員

千葉とこの辺の特性の違いで、例えば、この辺は氷があつたりして、若干違うかと思う部分があるんですけど、そのあたりはどうなんですか。

吉田学校教育長

修正してあります。

宮脇教育委員

それであればいいです。

白鳥市長

ほかどうでしょうか。

原田教育委員

確かに、教育委員会としてはチェックして危ないものを取り除くということは大事だと思うんですけど、それと同時に子どもたちにこういうところは危ないんだよとしっかりと教えるということは、当然されると思うんですが、あれも危ないこれも危ないという、危なくないものがなくなってしまうと思うので、自分できちんと考えて素早く行動できるということが一番大事だと思うので、そこは改めてやったほうがいいと思います。

白鳥市長

その辺は学校はどうなっているの。

笠原教育長

今回の取組を通じて大事だなあと考えたのは、子どもたちへの適切な情報を提供する、保護者の皆さんにもお伝えする、例えば、この間通学路委員会がありましたけれど、その際にはこの資料が皆さんに提供されて、例えば安協の皆さんが危険個所に出向かれて関わっていきこうじゃないかというようなご発言もあって、広がりを持つことができたなと思いました。今、原田委員さんがおっしゃるように、子どもたちに適切な情報が提供されて、子どもたちが自ら自分の身を守るということが大事なところだと、もう一つは、今回の取組で大事ではないかと思うことは、全職員で取り組んでいること。今までは多くの学校で1日が安全点検の日、管理場所の安全点検をするんですが、しばらく時間が経ちますと、同じようなことをやっていくようになりますので、今回新たな目が入った。実際この間、高遠中学に行ってみても、2つの柵が真新しいT字の金具で止めてあるんですね。今回はこういうことを通してこういう動きを先生方が作られたのかなというようなことを感じながら見せてもらいました。全職員、すべての方が実際に自分の手で確かめてみると、さっき市長おっしゃった古いまま少し高いところにある額などに今回相当手が入ったのではないかというふうに思っています。

白鳥市長

チェックリストを出してもらって、対応してもらった後に教育委員会として現場を

見るとか、やってあるとかないとか確かめるというより、日常的にそこにいる先生たちでない目で見ることによって見えるものがあるかもしれないので、そんなことも考えてもらったほうがいいかもしれない。ピアノはめちゃくちゃ凶器になるからね。千葉県で大きな地震があったときに、関連会社で事故があったんだけど、重い台車があちこち暴れて逃げようがなかったと、人にぶつかれば完全に死んでしまう。あれが一気に動いてまた戻るということになるので、ピアノというのはちょっととした輪留めでなくてしっかりしたものにしておかないとまずいと思うね。

田畑教育委員

今の話に付随して、通学路のブロック塀について調査して、例えば伊那東小だと安全見守り隊がチェックして、PTAの親たちが通学している子どもたちの交通安全の視点で見ているんですけど、年に1回とか情報提供して、安全見守り隊の人たちが保護者なので、1回は自分のお子さんと一緒に学校から帰ってもらって、教育委員会からこの家のこの壁は危険だと指摘してしまうことは、持っている方の権利もあるのでいかなものかというような意見が出てくるかもしれないので、それとは切り離して、あくまで危険の回避ということで歩くということで、親として子どもと一緒に歩く活動につながるかもしれないので、安全な登下校にまつわる活動にかかわるPTAに年1回の調査を提供して、もしくはその会の方から危ない場所をあげてもらって、撤去については、持ち主が判断しなければいけないものであれば、そこは気を付けて通るという意識を子どもたちに持ってもらう方が大事なのかなあとと思います。うまく結果をフィードバックして使ってもらえるようになればと思います。

北原教育長職務代理者

少し戻ってしまうんですが、2ページに教職員も子どもたちも鋭敏な安全感覚を身についてとあるんですが、そういう意味で今回の調査というのは、2ページの下の方に全職員で調査する、調査の内容が目視から作動までどのようにするかを一度はっきりさせることはとても大事なことです。これを行った後で、先ほど言われた命にかかわるものに関しては、これから冬場になれば日暮れ時は交通が非常に危険です。冬になればつららが落ちてくるところだとか、凍結だとか、大きな事故につながりかねないところがありますので、そうした时期的なこととか、先ほどは猛暑だったんですが、つららや凍結といった命にかかわるものについては、どんと出していくことを系統的にやっていくことが大事なかなと思います。

白鳥市長

学校林に手はついてますか。

吉田学校教育課長

はい、西箕輪のマレットゴルフ場にかかわる契約ができたところです。

白鳥市長

これについては、教育委員会のなかでも出してもらって、確認しながらいきたいと思っています。

続いて安全対策の中で、エアコンに関してご意見があればお願いします。

白鳥市長

こうしてデータをとってみると私たちが考えていたことと結果が違っているので驚きだったんですけど、東部中あたりが一番涼しかったというのは、意外ですね。データに基づいて見ていくということは非常に大事で、エアコンを入れていくのに3階をやって2階をやって1階と暑い学校の教室を行うのではなく、学校単位でやるんだよね。

吉田学校教育課長

市長おっしゃられたように、フロアごとということも考えたんですけど、整備は学校単位でやっていったほうが効率的に整備できるということもありますし、特に、暑い学校は1階も2階も同じように暑いということもありますので、学校単位でやればと考えています。

白鳥市長

エアコンを入れれば電気代がドカンと上がると思うんだけど、対応策は考えている。

吉田学校教育課長

はい、エアコン自体なるべく使わないようにということで、例えば、よしずを置くとかガラスに熱を通さないようなフィルムを貼るとかいうことで、熱をなるべく教室内に入れ込まないようにすることで、エアコンの使用を抑える、あるいは、気温を抑えることも考えていきたいと思っています。そのほかにもこれから研究して取り組んでいきたいと思っています。

白鳥市長

前に夏休みの時期をずらすとかいう話があったね。あれは検討しているの。

吉田学校教育課長

議会の一般質問等いただいたなかで、前倒しするとか期間を伸ばすとか検討はしています。具体的にいつどういうふうにするかは結論が出ておりません。

笠原教育長

若干日、前にずらして長くすることは可能かと考えています。実際には県の方でも夏休みを長くできないかということで、年度末のスケジュールとの関係が大きいので、その辺は県の方で具体的には言っていないんですけど、そうしたものが出てくると具体的な期間の設定ができるかと思っています。

白鳥市長

エアコンについてご意見のある方はいますか。

田畑教育委員

エアコンの設置の話と若干違うかもしれないんですが、息子が伊那東小に通っていて、新校舎がすごく素敵にモダンにできたんですけど、作った当初から構造的に暑すぎると、風が通らないということで、校舎の設計とか建築をするときに、伊那東小だけですかね、デザイン上や構造上の設計をするとき、この際エアコンを設置すると

きに、新しい施設を作るとき、デザインが上がってきたときに、風通しに問題があるんじゃないですかということが言えるようになったらいいかなということも合わせて構造上のものも見られたらと思います。

白鳥市長

先ほどの安全に戻るんだけど、伊那東小学校って落雪防止のストッパーがなくて、後から付けたんだよね。そのまま滑り落ちてドカンと来たら大変なことになっちゃう、今の季節なのでさっきの議論になるんだけど、冬場なら雪の落下、氷の落下があるので、設計会社というのは、往々にしてデザインに凝って、作品だという扱いをするよね。自分の作品だということだけでやられちゃうと機能がおろそかになっちゃう、機能が一番大事なので、そういうところを学校だけじゃなくて、これから市の発注するものについては、しっかりと見て、十分気を注意していくようにします。

宮脇教育委員

今日、東小に行って校長先生と話をしたら、その話になって、校舎の向き自体が東西で、夏には南風が吹くじゃないですか、南北に薄いと風が通るんですけど、東小はもともとがそういう作りだったのが、その校舎を残して増築するのに、逆に南北に長い校舎を作った後に、こちらの校舎を壊したという手順をとったので、校舎の向き自体が風の抜けない構造になっちゃったと言っておりまして、本当はこっちを壊して、建てればよかったんだけど、そうすると3,000万円高くなるって、そのために校舎の向きを変えたということがあったらしいので、そのあたりも今度建て直すときはのちのことも考えてやらないといけないと思います。

白鳥市長

そうだね。向山雅重先生の研究の中に「伊那谷の家の向き」というのがあるんですね。どっちを向いているかという、そうすると大体同じ方向、東向きとかね、風の通りを意識して北側には生垣とかね、そういう作りが昔の上伊那の一般的な家の向きだという本があったんだけど、そういうことを考えてやっていかないと、そのとおりだと思うね。

白鳥市長

ほかはいいですか。

全委員（なし）

（２）ICT教育について

- ・ICT機器（書画カメラ等）の整備状況
- ・職員のレベル向上の取組等

白鳥市長

次に、「（２）ICT教育について」についてであります。書画カメラ等大分入ってまいりまして、昨年度、今年度学校単位に入れてきたんですけど、これプラス先生たちの習熟度が上がっていかないと子どもたちの授業のレベルが上がっていかない、それについても対応しつつやっております。それを含めて説明をお願いします。

資料NO. 2に基づき、吉田学校教育課課長説明

白鳥市長

今月いっぱいでは約半数に納入されて、来年度残り半分に納入されて、2か年かけていく予定です。このICTについて、ご意見、ご質問等いただければと思いますが、いかがでしょうか。

田畑教育委員

まず、機器導入で理想的な授業ができるのかなと思うんですが、今回キャリアフェスをやった時にも実行委員会を人的な異動で市役所の一部を借りて、みんなで集まってとか、時間の調整が出てくるんですけど、各校が完全にネットワークでつながっていけば、会議室でみんながネット上で顔を合わせて、企画会議ができたりとか、中学生サミットも今年は別の形に置き換わってきたと思うんですけど、簡単な流れで時間を区切って平日のクラブ活動の時間帯に頻度を上げて活動をつなげていけると、授業と違う形の活用かもしれませんけれど、社会問題に目を向けたり、子どもたちが積極的に地域の活動に目を向ける大きなきっかけになる授業に使えるので、今はいろいろな不具合があるかもしれませんが、構想として早く整備ができると非常に使い勝手がいいのではと思っています。

白鳥市長

授業だけではなくて、学校間、共同授業もできるよね。

原田教育委員

山間部ですとか、子どもがどんどん少なくなってしまうところ、例えば、学校として成り立たないというようなところに向けても必要かなと思います。あと、ベテランの方で授業が確立されているような場合は別かもしれないですけど、若い先生で未熟な方であってもそういった機器をしっかりと使いこなすことができると、充実した授業ができるのではないかと思います。

白鳥市長

ゆくゆくはこれが理想だというようなICT教育の授業風景ができれば先生がいらなくなるのかな。

原田教育委員

そういうことになるんですかね。

田畑教育委員

今の話で追加で思うことなんですけれど、私見なので、違っていたら言っていたきたいんですけど、先生の自分の教師像と教育方針、教科書は統一のものを使いすけれど、子どもをどう教えるかというところに教育者としての資質を形づけているところがあって、これが進むなかで、この教え方をICTでやった時に、こんなスライドを作りました。こんな素晴らしい資料を作りましたので、みんな自由に使ってくださいということで、どんどんレベルアップしながらこんな種類があります。それを

自分で持ってきてバージョンアップしていくというようなことができると、授業の準備時間が圧縮できるでしょうし、誰々先生が使った伝説のパワーポイントとか、伝説の教え方の道具みたいなものをみんなで共有するような、伊那市の先生のデータバンクというか、教材データバンクにアクセスすると教員も制作する時間の圧縮ができて、働き方改革につながる授業構成になってくるかなと思います。

北原教育長職務代理者

関連して、今言われたことはエリアコーディネーターの足助先生が中心になって、研究会としてかなりの量をアップしてあります。ただしアプリでないと落とせないということで、Windows でないと落とせないんですね。そこのところがまだ詰まっているところなんですけど、これは是非やっていきたいと思います。

もう一つは5ページのところで、課題ということで厳しめに書いたと思うんですが、機器に向けての取り組みに向けて、授業づくりが大幅に遅れていて、いい教材、いい授業を共有し展開していかなければいけないのかなと思うんですね。先般、手良小学校に主幹訪問で行ったとき、この学校で昨年入れたんですけども、感心したのはどこの学級に行っても、課題が明確に据わっている、去年までなかった、一つの課題ができてきているんですね、こういうことを取り上げて授業というのは狙いがはっきりしていて、それを子どもたちがどう展開していくかであって、そのためにこれを使って本当に有効に使えるというあたりをしっかりと検証していかないといけないのではないかと、その意味で主事やコーディネーターが情報を出していると思うんですが、その辺を各校がわかるように、各学校に伝わっていく、時には、目で見てわかるということをしっかり押さえていくことが大事だなと思います。

白鳥市長

すでに始まっているんですね。ほかにどうでしょうか。

白鳥市長

先生たちも一生懸命勉強してもらったり、子どもたちのためにわかりやすい授業をしてもらいたい。前に一般質問でも野口先生からあったんだけど、明日の授業のための教材づくりを手作業でやって深夜までかかっているという、いろんな先生が同じようなことをやっているのを、これによって解消されれば働き方改革にかかわってくるので、私たちも期待しながら、むしろ、働き方改革につながっていくような使い方を研究してもらうことが大事だと思うね。

あと、先ほどの田畑委員さんの意見の中で、学校間のネットワークの関係で、大容量のものをやり取りできる環境が必要なので、それも合わせて進めていってもらいたいと思います。

ICTの関係ではサン工業さんから大分寄付をもらっていますので、一度サン工業の社長さんに授業を見てもらって、こういうふうに使われていますということをコーディネートしてください。多額のお金をもらって、この間も300万いただいております。

白鳥市長

よろしいでしょうか。

全委員（なし）

馬場教育次長

長い間、審議いただきありがとうございました。それでは、第2回目の総合教育会議を以上で終了とさせていただきます。

お疲れ様でした。